



2022年1月11日
(幼保連) 認定こども園さふらん

園だより

1月号



1月の聖句

互いに愛し合いなさい

ヨハネによる福音書 15章 12節

明けましておめでとうございます。

新しい年も神様の御手に守られ希望に満ちた年になるよう願っています。本年もどうぞよろしくお願いたします。

日本海側の大雪の便りを聞きながら、関東は晴天の穏やかなお正月でした。皆様いかがお過ごしだったでしょうか。

1月は行く・2月は逃げる・3月は去ると言われるようにあっという間の3学期ですが、進級・入学に向けた年度の締めくくりの大切な時です。1日1日を大切に過ごしたいと願っています。

小学1年担任の教師を招いて昨年末に研修の時を持ちました。

今までの教科書中心からタブレットも加わり、コロナ禍の中での学校生活の変化（マスクの着用・イスの間隔を開ける・食事中の黙食・外で充分遊べない～特に緊急事態宣言中）など送り出す幼稚園として厳しい現実を知らされ、改めてコロナ禍の日々が子どもたちの成長に与える影響の大きさを知らされました。

幼稚園・保育園から小学校へとスムーズに繋げるためにアプローチカリキュラム（年長児の10月から3月）とスタートカリキュラム（1年生の4月から7月）を交換することを町田市も行っていきます。小学校の先生たちと直接会って話し合いが出来ないので、今回の研修は良い機会になりました。

椅子に正しく座る・話を聞くことができる・様々なことに興味や関心を持つ・言葉使い（教師や友達）・自分の名前が書いて読める（学習はゆっくり進むので出来なくてもよい）本格的な学習に入る前に必要なことは、たくさん経験や体験をして欲しい、そうでないと話を抽象化して考えられない。それは人間関係においても言えることです。チャレンジして失敗しても前向きに取り組む姿勢が大切です。

それと共にランドセル一杯の道具類の片付けを10分で行い、食事は20分で食べるなど生活の基本などもご家庭の協力が必要です。幼稚園でもカバンなどの自分のものは自分で持つなど、自分のこととして意識付けることを是非やっていただきたいと思います。子ども達が1年生への移行に戸惑いがない為にも小学校の先生方とこれからも連携を深めていきたいです。

コロナの感染者が多くなってきました。園でも今まで通り対策を行っていきますが、ご家庭でも子どもたちの体調には充分気を付けて頂き、体調の悪い時は休ませてください。

今月の聖句はキリスト教の根幹をなす大切なメッセージですが、怒り不満に陥りやすい人間にとって行うことは容易ではありません。でも「愛は ほほえむことだけで はじまります」と、マザーテレサの言葉にあるように微笑むことが愛のスタートだとしたなら、日々子どもたちの微笑みと愛に囲まれている幸せを感じずにはられません。



ナーサリーだより

2022.1.11

あけましておめでとうございます。

新しい年も神様のお導きの中、年度の締めくくりの3学期の日々を大切に過ごしていきたいと思います。今年も宜しく願いいたします。

日本海側では大雪の便りを聞きながら、コロナの心配もありましたが、こちらは寒い中にも穏やかなお正月となりました。皆様いかがお過ごしでしたでしょうか。

6日午後から降った雪があつという間に園庭を真っ白な銀世界に。初めて見た子もいたでしょう、皆大興奮！翌日テラスや園庭に残った雪でたくさん遊びました。

遊びが多様化していますが、お正月遊びで親しまれたトランプやかるたや福笑いなど、それぞれのご家庭で楽しまれたでしょうか。昔は忙しい親とゆっくり関わられたお正月の遊びは家族のぬくもりが感じられる唯一の時でした。今は家族が揃って居てもそれぞれのスマホを見ている時代、だからこそ親子で向き合うことのできる遊びの時間を大切にしてほしいと願っています。

1月は福笑いやかるた、段ボールの手作り羽子板で羽根つき、牛乳パックでこま作り等、お正月遊びを楽しんでいます。

うさぎさんは片言の言葉でのやり取りも増えてきました。互いに意思を伝えようと一生懸命話そうとする姿に、友との遊びも安定してきたと嬉しいです。

りんごさんは上履きに履き替え、ゆり組前を通り階段を降りてさくらんぼさんと一緒に遊び、時には年少の部屋を訪れ、うさぎさんもりんごさんの部屋で遊ぶ機会を作っていく中で、少しずつ進級へ思いを膨らませていきたいと思います。

12月は下火になったコロナの感染者が、このところ寒くなったこともあり増えてきました。園としても今まで通りの対応は続けますが、ご家庭の協力も大切です。特に小さい子どもは急に発熱することもあります。体調の悪い時にはお休みくださるようお願いいたします。

今月の聖句の後の17節に「互いに愛し合いなさい。これがわたしの命令である」と、イエスの強いメッセージを感じます。「愛はまず家庭から始まるのです。愛は家庭に住まうものです。」これはマザーテレサの言葉ですが、生まれたばかりの赤ちゃんにとって無償の愛が無ければ生きていけません。家庭の中で親から子への愛の継承が、イエスの命令であると思うのです。

(園長 早坂)